

科目名	農業情報処理	単位数	2単位	学科・学年	環境土木 科 2年																																																							
使用教科書	農業情報処理	実教出版	副教材等																																																									
学習目標	<p>この科目では、情報処理に必要なワープロソフトの取り扱いと表計算ソフトの取り扱いについて重点的に取り組みます。それぞれ検定にも生かせる内容を中心に取り組みますので、基本をしっかりと身に付け、検定受験も目指して下さい。</p> <p>また、プレゼンテーションソフトの取り扱いも農業クラブ活動や課題研究発表などを見据えて取り組みます。基本的な操作から、人へ自分達の考え方や意見を伝えるにはどういうところに注意するかについて学習します。</p> <p>最後に、現在多方面で利用されているインターネットを中心に、情報社会で生活するためのモラルやマナーについても学習します。</p>																																																											
学習評価	<p>○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査までを学習のひとまとめり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。</p> <table border="1"> <tr> <td>①関心・意欲・態度</td> <td colspan="5">情報処理に対する関心と意欲を高め、意欲的に学習に取り組める態度や授業展開中の質問に対する応答、また課題に対する取り組みなどから評価します。</td> </tr> <tr> <td>②思考・判断</td> <td colspan="5">情報処理に関わる様々な知識と技術を理解し、課題の内容を満たすにはどのような操作や考え方が必要なのかを各課題の取り組みから評価します。</td> </tr> <tr> <td>③技能・表現</td> <td colspan="5">授業により得た知識や技術が自分のものとして活用でき、自らの力によって様々な工夫を凝らし、適切な答えを導きだす力を、各課題の取り組みから評価します。</td> </tr> <tr> <td>④知識・理解</td> <td colspan="5">授業により得た知識や技術が自分のものとして活用でき、自らの力によって答えを導きだす力を、各ワークシートの取り組みから評価します。</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">  </td> <td>評価方法\観点</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学習状況観察</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>課題プリント</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>課題成果</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>テスト</td> <td></td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>確認テスト・定期考査</td> </tr> </table> <p>※表中の◎は観点の中でより重視するところです。</p> <p>○担当教員は2名でチームティーチング形式で行う予定です。各操作が中心になりますが、不明な点があれば、担当の教員に聞くことを繰り返すことで、知識と技術を身に付けてください。</p>					①関心・意欲・態度	情報処理に対する関心と意欲を高め、意欲的に学習に取り組める態度や授業展開中の質問に対する応答、また課題に対する取り組みなどから評価します。					②思考・判断	情報処理に関わる様々な知識と技術を理解し、課題の内容を満たすにはどのような操作や考え方が必要なのかを各課題の取り組みから評価します。					③技能・表現	授業により得た知識や技術が自分のものとして活用でき、自らの力によって様々な工夫を凝らし、適切な答えを導きだす力を、各課題の取り組みから評価します。					④知識・理解	授業により得た知識や技術が自分のものとして活用でき、自らの力によって答えを導きだす力を、各ワークシートの取り組みから評価します。						評価方法\観点	①	②	③	④		学習状況観察	◎	○	○			課題プリント	◎	◎	◎	○		課題成果	○	◎	◎			テスト		◎	◎	◎	確認テスト・定期考査
①関心・意欲・態度	情報処理に対する関心と意欲を高め、意欲的に学習に取り組める態度や授業展開中の質問に対する応答、また課題に対する取り組みなどから評価します。																																																											
②思考・判断	情報処理に関わる様々な知識と技術を理解し、課題の内容を満たすにはどのような操作や考え方が必要なのかを各課題の取り組みから評価します。																																																											
③技能・表現	授業により得た知識や技術が自分のものとして活用でき、自らの力によって様々な工夫を凝らし、適切な答えを導きだす力を、各課題の取り組みから評価します。																																																											
④知識・理解	授業により得た知識や技術が自分のものとして活用でき、自らの力によって答えを導きだす力を、各ワークシートの取り組みから評価します。																																																											
	評価方法\観点	①	②	③	④																																																							
	学習状況観察	◎	○	○																																																								
	課題プリント	◎	◎	◎	○																																																							
	課題成果	○	◎	◎																																																								
	テスト		◎	◎	◎	確認テスト・定期考査																																																						
履修上の注意	<p>○授業はパソコン教室で行いますが、みんなが使用する教室ですからマナーをしっかりと守って下さい。</p> <p>○分からないところやパソコンの不具合などがあればすぐに担当の先生へ連絡して下さい。</p> <p>○勝手にパソコンの設定を変えないようにして下さい。</p> <p>○座席位置はあらかじめ決めておきますので、勝手に入れ替わらないようにして下さい。</p>																																																											

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動 (評 価 方 法)	
1	4	パソコン教室の使用規則	2	○パソコン教室は全体で共有するものであるの で、使用の際の注意点や 規則について確認する。	○パソコン教室使用規則 を理解し、マナーを守っ て授業を受ける態度など を理解する。	
	5	表計算ソフトの利用	22	○表計算ソフトは「エク セル」を使用し、基本的 な入力方法を身に付け、 簡単な数式、関数の使い 方からグラフまでの操作 を身に付け、検定を視野 に入れた内容も学習す る。	○初めて触れる者がほと んどであるので、基本的 な部分を完全に理解し、課 題プリントの内容がしっ かりとできるような知識 と技術を身に付ける。 ※学習状況観察 ※1学期期末考査	
	6	1 表計算ソフトの概要				
	7	2 表作成と表計算				
	7	3 グラフの作成 4 表計算ソフトの応用 検定内容に即した内容				
	2	9	プレゼンテーションソフトの利用	13	○プレゼンテーションソフトは「パ ワーポイント」を使用 し、基本的な操作方法を 身近な話題やできごとを 題材にしたプレゼンテー ションを作成することで身に付け る。	○作成したプレゼンテー ションは授業の節目にそれぞれ 全体の前で発表してもら います。その中で他人に 伝えることの難しさや技 術などを学習します。
		10	1 プレゼンテーションソフトの概要			
		10	2 プレゼンテーションソフトの基本操作 3 プレゼンテーションソフトの応用			
		11	ワープロソフトの利用	13	○日本語入力（ローマ 字）を速やかにできるよ うになる。また基本的な 通信文の作成を通して文 書作成の決まり事などを 理解する。	○日本語入力や文書作成 を各課題プリントを解い ていく形式で行う。 ※学習状況観察 ※2学期期末考査
		12	1 ワープロの概要 2 ワープロの基本操作 3 ワープロの応用			
3	1	検定内容の確認	12	○基本操作を身に付けた 上で、検定受検に必要な 細かい応用を学習する。	○情報を簡単に送受でき る社会において、日頃ど のような考え方や態度を 身に付けなければならない かを、プリントや身近 な事柄から理解する。 ※学習状況観察 ※学年末考査	
	2	各検定試験に対応した内容の補足	8	○情報社会の光の面と陰 の面を理解することで、 利用する人間のマナーや モラルについて学習す る。		
	3	情報化社会のモラルとセキュリティ 1 情報化社会の光と陰 2 情報化への対応				